

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
情報	社会と情報	2	1 学年・普通科・1－1、2

科目概要と目標		1 コンピュータにおける情報の表し方や処理の仕組み、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させる。 2 問題解決においてコンピュータを効果的に活用するための、科学的な考え方や方法を習得させる。 3 コンピュータを効果的に活用するための、技術を習得させる。
教科書・副教材		第一学習社 高等学校 改訂版 社会と情報
評価の観点	関心・意欲・態度	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。
	思考・判断・表現	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
	技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。
	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価の方法	各学期 平常点（課題提出・授業への取り組みなど） 40％ 筆記試験および実技試験 50％ 出席点 10％ ※実技教科であるので、授業の欠席、遅刻の際には減点する場合がある。 学年末 各学期の評定の平均	

学習計画および評価方法 等（科の特性に応じて書式や項目を改変してください）

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d

4	○オリエンテーション コンピュータの基本操作、注意事項	・ I D、パスワードの確認と変更 ・ コンピュータ室の利用方法について	○		○	
	○第 1 章 1 情報とその活用	・ 情報の重要性について ・ 情報の受信者、発信者として	○	○		○
	○第 2 章 1 コミュニケーション手段の発達 3 ネットワークコミュニケーション	・ コミュニケーションの手段、サービス ・ コミュニケーションと情報モラル	○	○		○
5	○第 3 章 1 情報システム 2 情報社会の法と個人の責任	・ 情報システムの実例と構造 ・ 個人の権利、著作権について	○	○		○
6	○実技（文書作成）					
7		・ ワードプロソフトによる入力と処理 入力、文書作成練習	○		○	
8	○第 1 章					
9	2 情報の表現 ○第 2 章 2 情報通信ネットワークのしくみ	・ アナログとデジタルの特徴 ・ コンピュータネットワーク（インターネ ット、電子メール、Web）について	○	○		○
	○第 3 章 3 情報社会と安全性	・ 情報セキュリティの侵害や技術 ・ 安全性に向けての行動	○	○	○	○
	○第 4 章 1 情報化の光と影 2 情報技術と人間 3 問題とその解決	・ 情報化の恩恵と課題、犯罪 ・ 人間に役立つ情報技術 ・ 問題の定義、手順、解決	○	○	○	○
10	○実技（表計算）	・ 表計算ソフトによる編集と処理				
11		各種関数の利用			○	○
12		データのグラフ化			○	○
1	○実技（プレゼンテーション）	・ プレゼンテーションソフトによる編集と 処理				
2		自己紹介の作成			○	○
3		情報モラルについてグループ ワーク活動を実施し、発表する	○	○		○

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
情報	課題研究	4	3 学年・普通科・選択 B

科目概要と目標	1 情報と表現に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。 2 自ら課題を設定し、情報技術を用いて表現する。 3 情報を適切に表現する能力と態度を育てる。	
教科書・副教材		
評価の観点	関心・意欲・態度	情報や情報社会に興味をもち、身のまわりの問題を解決するために進んで情報及び情報技術を活用し、情報社会に主体的に対応しようとする。
	思考・判断・表現	情報活用の方法を工夫したり、改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。
	技能	情報収集・選択・処理を適切に行うとともに、情報を目的に応じて表現する技術を習得する。
	知識・理解	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、現代社会における情報の意義や役割を理解している。
評価の方法	各学期 平常点（課題提出・授業への取り組みなど） 40％ 筆記試験および実技試験 50％ 出席点 10％ ※実技教科であるので、授業の欠席、遅刻の際には減点する場合がある。 学年末 各学期の評点の平均	

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4	○オリエンテーション コンピュータの基本操作と注意事項	・コンピュータ室の利用上の注意 ・コンピュータの基本操作	○		○	○
5	情報活用とメディア 1 メディアの種類と特性 2 コミュニケーションの基礎	・メディアと表現、伝達 ・コミュニケーションの成立、技法		○		○
6	情報活用の基礎 1 文書による表現方法 2 図解による表現方法	・入力の練習 ・Word による文書作成		○	○	
7		・Word による暑中見舞いの作成		○	○	
8	情報活用の基礎					
9	3 画像による表現方法	・画像表現の基礎 ・画像の取り込みと編集 ・画像の作成と編集	○		○	○
10	4 映像による表現技法	・映像表現の基礎 ・映像の撮影 ・映像の作成	○		○	○
11	情報発信の基礎 1 インターネットにおける情報発信	・プレゼンテーションの基礎 ・プレゼンテーションによる情報発信 ・ネットワークを活用した情報発信	○		○	○
12		・クリスマスカード、年賀状の作成		○	○	
1	情報発信の基礎 3 映像による情報発信	・映像の作成 ・映像表現の応用	○		○	
2				○	○	
3						